

# 畜産副産物需給動向（海外事情）調査

—平成14年度 畜産副産物需給安定体制整備事業—

—中国の皮革産業を中心として—

平成15年3月

社団法人 日本畜産副産物協会  
財団法人 政策科学研究所

## はじめに

本調査（－中国の皮革産業を中心として－）は、(社)日本畜産副産物協会の委託により(財)政策科学研究所が実施した「平成14年度畜産副産物需給動向(海外事情)調査」の一環として取りまとめたものである。

国産豚原皮は、国内タンナーの海外との競争力の低下等により中国等の海外市場へ輸出されている。国産原皮の安定的な輸出を確保するためには、海外市場の動向を把握することが必要であり、特にタンナーの動向は、経済のグローバル化の中で新たな動きがみられる。このような海外事情や国内外タンナーの動向を把握するとともに、原皮の生産から輸出に至る流通事情を把握し、安定的な輸出の対応策の検討に資することを目的としたものである。

本調査の実施と取りまとめは、京都大学農学研究科生物資源経済学専攻（日本学術振興会特別研修員）金 成士学（KIM, SungGak）氏の尽力によるものであり、(財)政策科学研究所 義村利秋が全体調整等を行った。また、(社)日本タンナーズ協会からは多くの資料提供をいただき、厚くお礼申し上げる次第である。

平成15年3月

財団法人 政策科学研究所

## 目次

I	原皮と皮革製品の輸出と輸入の動向	1
1	全世界における皮革産業の規模	1
2	日本における牛の皮革の輸出	2
3	日本における豚の皮革の輸出	4
4	日本の牛皮革の輸入	6
5	日本の豚革の輸入	8
II	海外のタンナー業界の現状	9
1	日本産豚原皮の中国輸出の実態	9
2	中国皮革産業の概観	9
3	中国における製革企業	10
4	中国の靴製造企業	13
5	鞆、ハンド・バック製造企業	14
6	主な生産基地と大手企業	15
7	中国の皮革産業の発展方向	19
8	中国のWTO加盟の影響	20
9	中国皮革工業協会	20
10	個別事例	24
III	皮革関連国際機構	32
1	国際製革協会（ICT）	32
2	国際皮革取引協会（ICHSLTA）	34
IV	日本のタンナー業界と原皮業界の今後の課題	36
1	製革業界の状況と課題	36
2	原皮業界の今後の課題	36

# I 原皮と皮革製品の輸出と輸入の動向

## 1 全世界における皮革産業の規模

### (1) 皮革産業の年間売上高

全世界中の皮革産業の年間平均売上高（94～96年間の平均）は、約43,974百万ドルである。その内訳をみると、原皮とスキンが5,419百万ドル、製品革13,053百万ドル、革靴24,974百万ドルである。

### (2) 製品革の用途別年間消費量（平方フィート：sq.ft）

全世界中の製品革の年間消費量は、約18,000百万sq.ftである。その約65%に当たる11,700百万sq.ftは革靴材料として利用され、約110億足の革靴が生産されている。また、衣類の素材に3,300百万sq.ft（18%）、自動車装飾に400百万sq.ft（2%）、家具に900百万sq.ft（5%）、その他の革製品の材料として1,700百万sq.ft（10%）が利用されている[表1]。

表1 2000年度における製品革の用途別消費量

〈百万平方フィート、%〉

用途別	消費量	割合（%）
革靴材料	11,700	65
衣類	3,300	18
自動車装飾	400	2
家具	900	5
その他製品	1,700	10
合計	18,000	100

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第326号

### (3) 世界主要国の製品革の生産量

2001年、全世界の製品革の生産量は約180億sq.ftである。国別生産量は、中国が3,000百万sq.ftでもっとも多く、イタリアが1,820百万sq.ft、インドが1,375百万sq.ft、韓国が1,000百万sq.ft、ブラジル725百万sq.ft、アメリカ700百万sq.ft、ソ連650百万sq.ft、スペイン500百万sq.ft、トルコ450百万sq.ft、メキシコ450百万sq.ft、パキスタン370百万sq.ft、アルゼンチン320百万sq.ftである。これら主要12ヶ国の生産量は約11,360百万sq.ftにのぼり、世界生産量の2/3以上を占める[表2]。

表2 2000年度における世界革主要生産国

(百万平方フィート, %)

国	生産量	割合(%)
中国	3,000	16.6
イタリア	1,820	10.1
インド	1,375	7.6
韓国	1,000	5.6
ブラジル	725	4.0
米国	700	3.9
旧ソ連邦	650	3.6
スペイン	500	2.8
トルコ	450	2.5
メキシコ	450	2.5
パキスタン	370	2.1
アルゼンチン	320	1.8
その他	6,640	36.9
合計	18,000	100

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第326号

## 2 日本における牛の皮革の輸出

### (1) 輸出量と輸出額

日本の成牛原皮生産量は、年間120万～130万頭分である。その大半は日本国内で消費されており、約10万～20万頭分だけが輸出されている。2000年度の牛皮の輸出量は4,223ト、金額としては約660,067千円であった。一方で、牛革の輸出量は4,500ト、金額は686,478千円であった。牛皮のほとんどはタイへ輸出（中国と香港への輸出も若干ある）されており、牛革の輸出は香港が中心となっている。

### (2) 牛皮の主な輸出国

最近11年間（1991～2001年）の牛皮全体の輸出数量（トン）を国別にみると、タイが27,834ト、韓国が25,127ト、台湾が1,469ト、中国が1,403トであり、合計で56,747トであった[表3]。なお、この11年間の牛皮の輸出額は、合計で10,041,819千円であった[表4]。最近の動向としては、1999年を境に韓国への輸出が急減し、現在はタイが中心となっている。

表3 最近11年間（1991～2001年）の牛皮全体の国別輸出数量（トン）

数量（t）	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	合計
韓国	1,190	3,363	2,183	5,026	2,772	2,631	2,238	2,730	2,089	871	34	25,127
中国	1		67	218	5	327	94	0	395	132	164	1,403
台湾	274	664		315	101	68	17	30	0		0	1,469
タイ	113	1,957	2,386	2,794	3,260	3,738	2,158	1,799	2,892	3,220	3,517	27,834
香港		15	1	1	55	84	31	16	70		250	523
フィリピン		34	43	160	76							313
ベトナム						17						17
インド				1				15				16
フィンランド									0			0
ドイツ											16	16
イタリア						16						16
アメリカ											0	0
ニュージーランド									13			13
合計	1,578	6,033	4,680	8,515	6,269	6,881	4,538	4,590	5,459	4,223	3,981	56,747

資料：「貿易月表」（財務省）

表4 最近11年間（1991～2001年）の牛皮全体の国別輸出金額（千円）

価格(千円)	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	合計
韓国	228,518	603,635	375,422	927,764	511,315	509,150	508,982	537,092	316,224	132,609	7,847	4,658,558
中国	550		18,140	38,091	351	66,098	22,413	3,326	58,994	22,211	10,830	241,004
台湾	50,804	110,990		59,358	18,931	13,205	3,531	3,473				260,292
タイ	16,154	285,889	367,618	488,397	554,670	678,158	459,347	287,955	338,100	505,247	713,443	4,744,988
香港		3,160	4,944	4,010	12,205	14,211	11,150	3,036	10,342		15,328	78,386
フィリピン		2,019	3,364	23,905	11,926							41,214
ベトナム						3,090						3,090
インド				1,756				2,608				4,364
フィンランド									306			306
ドイツ											3,689	3,689
イタリア						2,959						2,959
アメリカ											878	878
ニュージーランド									2,091			2,091
合計	296,026	1,005,693	769,488	1,543,281	1,109,398	1,286,871	1,005,423	837,500	776,057	660,067	752,015	10,041,819

資料：「貿易月表」（財務省）

### 3 日本における豚の皮革の輸出

#### (1) 輸出量と輸出額

日本では年間 1,500 万～1,600 万頭分の豚原皮が発生するが、国内でなめしされるのは約 300 万頭分で、のこりはすべて輸出される。即ち、革製品輸入増の影響で革の需要と国内タンナーの生産量が激減している。

2000 年、日本の豚皮輸出量は 37,476 トン、金額としては約 2,910,989 千円である。一方で、豚革の輸出量は 43,400 トン、輸出金額は 4,103,127 千円である。輸出先としては、皮、革ともに中国、香港、台湾が中心で、とりわけ皮の場合はこれら 3 つの国への輸出が全体の 90% 以上を占める。他にタイやスロベニアにも一部輸出されている。

#### (2) 豚皮の主な輸出国

最近 11 年間（1991～2001 年）の豚皮全体の輸出数量（トン）を国別にみると、台湾が 386,976 トン、中国が 96,840 トン、香港が 28,761 トン、韓国 19,457 トン、タイが 19,378 トンで、合計で 586,819 トンであった〔表 5〕。また、11 年間の豚皮輸出額を輸出先別にみると、台湾 49,806,852 千円、中国 11,770,622 千円、香港 2,701,671 千円、韓国 2,135,375 千円、タイ 1,764,009 千円の順で、合計 72,524,794 千円であった〔表 6〕。

最近の動向としては、1999 年以来、台湾への輸出が急減する一方、中国と香港への輸出が増えつつある。とくに、欧州の主なタンナーが中国のと合併会社を設立し、中国でなめしを行う傾向が強まっていることから、日本の原皮輸出先としても中国がトップ（全体の 60% 程度）となっている。

表5 最近11年間(1991~2001年)の豚皮全体の国別輸出数量(トン)

数量(t)	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	合計
韓国	1,196	1,095	1,965	2,405	1,318	1,397	809	2,386	5,815	859	212	19,457
中国	249	337	2,571	6,058	8,605	12,660	11,751	9,291	7,634	4,254	33,430	96,840
台湾	44,814	44,717	44,638	41,941	36,627	34,732	40,598	43,229	39,396	9,420	6,649	386,761
香港		0	712	1,081	1,816	1,419	1,612	840	300	12,243	8,738	28,761
ベトナム						18				16		34
タイ	1,512	1,888	1,532	1,293	1,604	1,928	840	1,115	1,567	2,470	3,629	19,378
フィリピン	2,057	2,230	1,071	1,293	1,169	978	1,321	1,578	2,456	2,152	1,528	17,833
イギリス			18	10	20	10	10					68
オランダ	2	1	2							2,193	314	2,512
スイス				17	15	0		51		17		100
ハンガリー	14								218			232
ユーゴスラビア	392	54										446
スロベニア		260	548	1,160	1,929	693	110	32	605	3,852	1,556	10,745
イタリア			17								18	35
カナダ								0			19	19
ブラジル	238	314	755	53		134	117	432	1,353		202	3,598
合計	50,474	50,896	53,829	55,311	53,103	53,969	57,168	58,954	59,344	37,476	56,295	586,819

資料: 「貿易月表」(財務省)

表6 最近11年間(1991~2001年)の豚皮全体の国別輸出金額(千円)

価格(千円)	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	合計
韓国	181,280	151,476	188,377	290,921	137,702	160,105	122,030	361,993	451,640	66,336	23,515	2,135,375
中国	38,334	44,002	252,479	859,805	1,055,799	1,522,864	1,816,340	1,465,917	555,231	448,379	3,711,472	11,770,622
台湾	6,869,584	6,001,000	4,560,610	6,026,923	4,660,034	4,143,441	6,423,376	6,694,366	3,028,391	749,612	649,515	49,806,852
香港		294	55,322	123,680	190,039	148,059	226,050	116,276	18,179	913,123	910,649	2,701,671
ベトナム						1,430				1,049		2,479
タイ	176,118	157,518	117,817	115,740	150,641	158,925	90,874	143,985	110,439	172,043	369,909	1,764,009
フィリピン	392,710	329,370	132,924	283,577	263,612	129,213	193,503	263,710	205,805	143,554	110,289	2,448,267
イギリス			2,852	2,093	3,785	1,730	2,119					12,579
オランダ	941	461	670							156,576	24,670	183,318
スイス				2,049	2,246	385		7,726		1,284		14,191
ハンガリー	1,838								11,695			13,533
ユーゴスラビア	66,775	9,020										75,795
スロベニア		39,505	66,956	177,909	295,143	89,316	18,819	7,216	43,972	259,033	190,448	1,188,317
イタリア			2,204								1,753	3,957
カナダ								1,250			2,245	3,495
ブラジル	28,441	40,631	79,246	5,073		16,152	21,428	79,267	105,253		24,843	400,334
合計	7,756,021	6,773,277	5,459,457	7,887,770	6,759,501	6,371,621	8,914,539	9,141,706	4,530,605	2,910,989	6,019,308	72,524,794

資料: 「貿易月表」(財務省)

#### 4 日本の牛皮革の輸入

日本では年間、約 120 万頭分の牛原皮が生産されているが、「薄くて硬いので、処理するのが難しい」など、その品質に対する評価は必ずしも高くはない。そのため、日本の原皮は主に自動車装飾用として利用されているだけで、毎年、大量の牛の皮・革が輸入されている。

輸入は革よりは原皮状態での輸入が中心で、主な輸入先はアメリカである。原皮の品質の面では、北欧のものが優れているが、高い価格が欠点であり、豪州産の場合は品質の不安定さが指摘されている。一方で、アメリカ産は、生産量も多く価格も適正、しかも品質も安定（厚くて処理し易い）しているため、年間約 200 万頭分の原皮が輸入されている。

牛皮の輸入を国別にみる（2000 年度）と、アメリカ 54,133 トン、オーストラリア 7,287 トン、オランダが 6,257 トンなどで、合計 77,140 トンが輸入された。なお総輸入額は約 20,561,775 千円であった。

一方で、牛革の輸入を国別にみる（2000 年度）と、アメリカ 2,957 トン、パキスタン 1,963 トン、ニュージーランド 1,871 トンなどで、合計 12,265 トンであった。また、輸入総額は 7,079,069 千円であった〔表 7〕。

表7 牛の皮及び革の輸入量と輸入金額（2000年度）

輸入量	皮		革		皮と革の合計	
	数量 (t)	価格(千円)	数量 (t)	価格(千円)	数量 (t)	価格(千円)
タイ	0.9	2,596	0	0	0.9	2,596
インド	0.01	259	29	100,926	29.416	101,185
パキスタン	0	0	17.977	56,185	17.977	56,185
韓国	0	0	1,963.79	1,125,788	1,963.79	1,125,788
中国	6	8,024	125.075	64,146	131.075	72,170
台湾	0	0	67.102	44,366	67.102	44,366
インドネシア	0	0	15.3	8,847	15.3	8,847
バングラディッシュ	0	0	278.376	701,555	278.376	701,555
ネパール	0	0	138.24	16,598	138.24	16,598
ノルウェー	140	39,045	11.04	27,890	151.04	66,935
スウェーデン	40	9,006	0.526	3,507	40.526	12,513
デンマーク	2,612	737,471	63.287	43,526	2,675.29	780,997
アイルランド	0	0	156.15	32,934	156.15	32,934
オランダ	6,257	2,282,905	131.806	119,937	6,388.81	2,402,842
ベルギー	188	45,367	99.095	54,503	287.095	99,870
イギリス	0	0	1,365.80	776,638	1,365.80	776,638
フランス	154	57,549	8.645	38,908	162.645	96,457
ドイツ	698	156,448	787.374	510,911	1,485.47	667,359
スイス	0	0	15.825	10,375	15.825	10,375
スペイン	239	59,865	3.314	5,832	242.31	65,697
イタリア	92	20,746	321.942	324,391	413.942	345,137
トルコ	0	0	31.79	9,226	31.79	9,226
フィンランド	61	13,315	0	0	61	13,315
カナダ	3,226	740,500	0	0	3,226	740,500
アメリカ	54,133.54	14,269,965	2,957.82	1,276,419	57,091.35	15,546,384
コロンビア	0	0	9.263	9,448	9.263	9,448
ブラジル	0	0	1,111.35	472,981	1,111.35	472,981
ボリビア	68	11,704	17.46	7,994	85.46	19,698
アルゼンチン	0	0	0.25	342	0.25	342
オーストラリア	7,287	1,317,255	666.474	375,124	7,953.47	1,692,379
ニュージーランド	1,938	789,755	1,871.40	859,772	3,809.40	1,649,527
合計	77,140.54	20,561,775	12,265.88	7,079,069	89,406.42	27,640,844

資料：「貿易月表」（財務省）

## 5 日本の豚革の輸入

日本の場合、豚皮革の輸入はほとんどない。とりわけ、原皮状態の輸入は皆無であり、革状態での輸入が僅かあるだけである。2000年の総輸入量は59トンスで、金額としては約180,279千円であった。一方で、2000年の馬類皮革の輸入は、皮4,473トンス、革5トンスで、金額としては皮814,566千円、革10,180千円であった。

## II 海外のタンナー業界の現状

1990年代以来、皮革生産と皮革貿易の中心がヨーロッパからアジアへ、とりわけ中国へ移動している。例えば、最近、多くの台湾のタンナーが、中国の浙江省に進出したため、台湾国内のタンナーの数は大きく減少している。また、韓国タンナーの中国進出も活発になっており、特に山東省煙台と河北省張家港には韓国タンナー工場が集中している。ここでは、主に中国を中心に海外の皮革産業の現状を概観する。

### 1 日本産豚原皮の中国輸出の実態

中国のタンナーは青島（チンタオ）の国営企業と浙江省温州（ウエンチョウ）の民間企業に大別できる。

中国のタンナーのうち、日本からの原皮輸入を直接手掛けることができるのは、温州のファーイーストなど5～6社の大手企業に限られている。中小企業の場合は、資金力がなく、銀行からL C（Letter of Credit:信用状）を発行してもらえないから、直接輸入は事実上不可能な状況にある。

なお、中国輸入業者からの要望数量は、大体10コンテナ程度ということで、国内企業1社で対応できるのは、日ハムや堀田万蔵商店など一部の原皮業者に限られている。現在、中国への輸出を手掛けている日本の中小商社は、関東と関西に合計10社程度あり、これら商社が原皮業者の荷を集めて輸出する方式をとっている。

### 2 中国皮革産業の概観

中国の皮革産業は、製革、靴製造、革製品、革製衣料、周辺関連産業（皮革用化学薬品、機械など）という5つのグループから構成されている。皮革産業を構成する企業数は、相当規模の企業だけでも16,000社以上あり、その内訳は、製革業者が2,300社、靴製造企業7,200社、革製衣料企業1,700社、革製品製造業者2,000社、毛皮製品製造業者が1,200社である。これら企業で働く従業員の数は200万人にのぼる。

2001年、中国の薄物皮の生産量は、約4億6,000万㎡、革靴と革製スニーカーの生産量は約20億足、革製衣料生産が約7,000万着であった。また、2001年度の中国革製品の輸出は、中国全製品輸出の4.7%に相当する124億8000万ドル（1兆5,600億円）を記録し、前年対比6.1%の成長を記録した。さらに、2002年の輸出額も中国全輸出額の5%に当たる190億ドルを超えている。

原皮・製品革の主な輸出国（割合）は、香港（59.1%）、韓国（10%）、イタリア（9.8%）、スペイン（5%）、台湾（3.1%）、タイ（2.1%）、インドネシア（2.1%）、アメリカ（1.7%）、ベトナム（1.1%）などである。

一方で、2001年度の中国の革製品輸入は約30億ドル（約4,500億円）で、2000年

に比べ約 6.5%増を記録した。

以上みたように、中国は、すでに量的には皮革大国 (big country) であるが、品質の観点からはまだ開発途上国に過ぎない。ちなみに、先進諸国に比べ品質やブランド、研究開発の面でかなりの立ち遅れをとっている。そのため、生産量のみならず質的にも優れた偉大な国(great country)になることが、今、中国皮革産業の一大目標となっている。

### 3 中国における製革企業

#### (1) 概要

中国の製革企業は相当規模のものだけでも 2,300 社程度あり、従業員の数が 8 万を超える超巨大企業も 400 社以上ある。超巨大企業の性格をみると、私企業が 42%、集団所有企業が 24%、3 種類の外資系企業 (合弁、協同事業、100%外資) が 23%、国有企業が 11%となっている。

#### (2) 製革企業の生産高

最近 20 年間、中国の製革企業の生産高は著しく伸びている。1952 年の皮革産業の生産はわずか 330 万枚 (投入する標準成牛皮の枚数に換算すると) であったが、1978 年には 2,659 万枚、1988 年の 5,203 万枚、1999 年の 1 億 1,300 万枚、2001 年の 1 億 9,000 万枚へと急増している。

中国の製革産業の主流は以前から薄物革生産であり、現在でも全国製革生産の約 80%以上を占める。とりわけ、羊皮および豚皮の薄物革生産量はともに世界 1 であり、世界生産量の約 10%を占めている牛皮の薄物革の生産も、世界 3 位の地位を維持している。

特に、最近 2~3 年間、中国豚皮タンナーの成長・発展は著しい。シューライニングの場合は、既に台湾並みの品質・価格を実現している。近年の中国豚皮タンナーの成長・発展の要因は以下のように整理できる。

- ①中国の税制優遇措置などで外国資本の導入がスムーズに行われたこと
- ②外国資本の導入だけでなく、タンニング技術の習得も容易になったこと
- ③安価な就業規定によって、大規模集約型の工場が可能であったこと
- ④当初から、汚水処理等の環境にかかるコストを大幅に削減できたこと
- ⑤中国政府の払い下げによって、なめし工場がただ同然で民間に移行したこと

#### (3) 中国における薄物革の 10 大生産地

中国の薄物革の生産 (4 億 6,000 万㎡) の約 96%は 10 大皮革生産地域にあるマンモス企業 (超巨大企業) が担っている。とりわけ、浙江省は、マンモス企業による全薄物革生産の約 60%を生産する中国一の製革生産地である [表 8]。

表8 中国の10大薄物革生産地

地 域	薄物革 (100 万平米)	割 合 (%)
浙 江 省	253.05	60.6
河 北 省	38.28	9.2
山 東 省	26.48	6.3
広 東 省	18.53	4.4
河 南 省	17.72	4.2
湖 南 省	11.66	2.8
広 西 省	11.05	2.6
四 川 省	9.61	2.3
福 建 省	8.34	2.0
江 蘇 省	6.59	1.6
10大生産地合計	401.30	96.1
総生産量	417.72	100.0

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第332号

#### (4) 中国の薄物革市場の需要と供給

2001年、中国の薄物革に対する需要は、前年に比べ大きく伸び、約5億万㎡であった。これを用途別にみると、爪皮（ヴァンプ革、主に牛革）が全体革需要の40%を占めており、衣料用革（主に豚皮、羊革）が約45%、その他が15%である。

一方、中国における革の供給は、国内生産が4億6,000万㎡、輸入が1億万㎡であり、また約6,000万㎡は輸出されている。

#### (5) 中国の製品革の輸入

過去20年間、中国の製品革輸入は年々増え続けている。2001年の輸入は、前年に比べて僅かに減少し、数量で726.77千ト、金額では約24億ドル（約2,500億円）であった。なお、輸入革の約70%は牛革である[表9]。

表9 中国の製品革輸入 (2001)

	数量(千トン)	金額(100万ドル)	金額の割合(%)
牛 革	179.57	1,510.38	63.1
半鞣し牛革	19.97	89.47	3.7
牛ウェットブルー	449.32	217.34	9.1
半鞣し羊革	12.02	48.31	2.0
羊 革	11.30	328.52	13.7
羊鞣し山羊革	0.26	6.69	0.3
山 羊 革	3.10	62.11	2.6
豚ウェットブルー	4.67	1.28	0.1
豚 革	5.63	64.47	2.7
そ の 他	40.94	64.85	2.7
合 計	726.77	2,393.41	100.0

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第332号

(6) 中国の製品革の輸出

製品革の輸出は最近3年間増加傾向にある。2001年の輸出も大幅に伸び、輸出額は約9億ドル(約1,125億円)に達した。輸出の主流は牛革(60.6%)であり、成牛革、牛ウェットブルー、および半なめし牛革の輸出が全製品革輸出の72.5%を占める[表10]。

表10 中国の製品革輸出 (2001)

	数量(千トン)	金額(100万ドル)	金額の割合(%)
牛 革	84.24	543.38	60.6
半鞣し牛革	16.61	52.42	5.8
牛ウェットブルー	35.96	54.49	6.1
半鞣し羊革	0.21	3.67	0.4
羊 革	1.95	63.34	7.1
半鞣し山羊革	0.37	3.63	0.4
山 羊 革	3.92	36.86	4.1
豚ウェットブルー	2.47	4.11	0.5
豚 革	13.16	126.78	14.1
そ の 他	2.00	8.10	0.9
合 計	160.88	896.77	100.0

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第332号

#### (7) 中国の皮革産業における環境汚染問題と動物福祉問題

2～3年前までは牛皮は韓国、豚皮は台湾が中心であったが、現在は全世界なめし生産の約半数（レザーで4億6千万 sq.ft）は中国で行われている。この傾向は今後さらに強まることと思われる。その理由としては、①未だに華僑資本の導入が続いていること、②公害問題を理由に中国皮革工業会は、新規タンナーに対する規制強化を要請しているが、その実現が難しいこと、③WTO加盟によって、皮革関連製品の輸入関税および装置税が徐々に引下げられることが予想できる、④中国に代わる巨大市場がないこと、などがあげられる。

しかし、中国のタンナーにとっても環境汚染問題は緊急課題（クロムフリーレザーの強調）といえる。最近、温州地区において多数（約1万件）の小規模タンナーが汚水処理違反で操業停止処分を受けた。これらタンナーの殆どは敷地面積20～30坪、ドラム2～3個で運営する非常に零細な業者である。特に、今回の措置は軍からのクレームによるものであったため、これらの零細工場が再び操業開始できるのは困難であるとの見解が支配的である。

さらに、動物愛護運動も中国の皮革産業にとってハードルになりつつある。近年、アメリカなどでは、消費者・圧力団体が製造業や小売業に対し、非人道的な方法で家畜をと畜する国から輸入された革の使用や販売を中止するよう圧力をかけている。アメリカでは、既に、動物愛護団体であるPETA（People for the Ethical Treatment of Animals）の抗議をうけて、中国とイタリアからの輸入製品の販売中止を発表した企業も出ている。

## 4 中国の靴製造企業

### (1) 概要

中国の靴製造業は革靴とスニーカー生産メーカーが主導している。革靴とスニーカー製造企業は、生産高、売上高および貿易高の面において、全靴製造業の50%以上を占める。

中国の靴製造企業は相当規模のものだけでも7,200社余りあり、従業員数が60万を超えるマンモス企業も1,000社以上ある。マンモス企業の性格をみると、私企業が35%、集団所有企業10%、3種類の外資系企業47%、国営企業が8%となっている。

### (2) 靴製造業の年間生産高

中国の年間靴生産量は約60億足程度で、その内訳は、革靴が約20億足（革甲製革靴）、布製シューズが16億足、ゴム製オーバーシューズが約12億足程度である。

なお、靴生産量の60%以上は輸出されている。とくに、革甲製皮靴輸出は革靴と革製スニーカー生産量の約40%を占めている。

靴製造企業の大半は東沿岸地域に集中している。代表的な地域としては、広東省（46.2%）、浙江省（22.9%）、福建省（17.6%）江蘇省（4.1%）、広東省（2.7%）など

である。これらの生産地にあるマンモス企業の靴生産量は中国全生産量の 98%を占めている。

### (3) 革甲製革靴の輸入

2001年、中国の革甲製革靴の輸入は約 157 万足であった。輸入額は、前年比で 43%増の約 3,000 万ドル (37 億 5,000 万円) であった。

### (4) 靴の輸出

2001年、中国の靴の総輸出は約 39 億 6,000 万足、輸出額は 96 億 8,000 万ドル (約 1 兆 2,100 億円) であった[表 11]。その内訳は、ゴム及び合成靴が 21 億足、革甲製革靴 8 億 7000 万足であった[表 12]。靴輸出量の約 50%はアメリカ向けで、その次がEUである。

表 1 1 中国の靴輸出 (2001)

	数量 (10 億足)	金額 (10 億ドル)
革甲製革靴	0.87	4.34
ゴム及び合成靴	2.11	3.64
布 靴	0.73	1.38
そ の 他	0.25	0.32
合 計	3.96	9.68

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第 332 号

表 1 2 中国の革甲製革靴の輸出推移 (1988~2001)

(単位：10 億足)

1988	1991	1993	1997	1998	1999	2000	2001
0.03	0.20	0.47	0.63	0.65	0.72	0.83	0.87

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第 332 号

## 5 靴、ハンド・バック製造企業

中国の靴・皮革アクセサリ企業は、相当規模のものだけでも 2,000 社余りあり、従業員数が 25 万人を超えるマンモス企業も 900 社以上ある。生産企業の大半は東沿岸地域に集中しており、全生産量の 65.5%が広東省で、15%程度は浙江省で生産される。

なお、2001年、中国の靴、ハンド・バックなどの総輸出高は約 38 億 8,000 万ドルで、皮革産業の全輸出額の 31%を占めている。これは革靴に次ぐ 2 番目の金額である。

## 6 主な生産基地と大手企業

革靴の主な生産基地としては、浙江省温州市と四川省成都市、重慶市などが、また、靴の主な生産基地としては、広東省広州市が、スニーカーの場合は福建省靖江市が、革製衣料と製革の場合は、浙江省海寧市、河北省辛集市、山東省などが有名である。

[表 13]には、中国の大手タンナーが、[表 14]は中国の大手靴メーカーが、[表 15]には中国の大手革製衣服メーカーがそれぞれ示されている。

表 13 中国の大手タンナー

企業名	商標	主な製品	地域
浙江省卡森集団	KASEN	牛家具用革	海寧市、浙江省
辛集東明皮革公司	DONGMING	衣服用羊革、 牛家具用革	辛集市、河北省
山東文登製革公司	HUALUPAI	豚、牛薄物革	文登市、山東省
河南鞋城集団	LONGFENG	牛靴用革、 家具用革	鹿色市、河南省
樂山振静皮革公司	ZHENJING	牛家具用革、 衣服用牛豚革	樂山市、四川省
遠東皮革有限公司	FAREAST	豚中敷用、 衣服用豚革	温州市、浙江省
浙江富邦皮革公司	FUBANG	衣服用羊、豚革、ダ ブルフェイス	海寧市、浙江省
山東茂徳皮革公司	MAODE	豚スエード革	臨朐県、山東省
佰立特皮革公司	BAILITE	衣服、靴、 バッグ用羊革	辛集市、河北省
煙台製革公司	ZHIFU	衣服用豚革	煙台市、山東省

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第 332 号

表14 中国の大手靴メーカー

企業名	商標	主な製品	地域
江蘇森達集团有限公司	SENDA	革靴	江蘇
康奈集团有限公司	KANGNAI	革靴	浙江温州
石狮市富貴鳥集团公司	FUGUINIAO	革靴	福建石狮
威海市金猴集团有限公司	GOLD MONKEY	革靴	山東威海
奥康集团有限公司	AOKANG	革靴	浙江温州
昆山哈森鞋業有限公司	HASEN	革靴	海山昆山
温州吉爾達鞋業有限公司	JI' ERDA	革靴	浙江温州
麗港鞋業(深圳)有限公司	BAILI	革靴	広東深圳
東藝鞋業有限公司	DONGYI	革靴	浙江温州
多爾康鞋業有限公司	DUO' ERKANG	革靴	浙江温州
青島亨達集团有限公司	HENGDA	革靴	山東青島
南京万里鞋業集团有限 公司	WANLI	革靴	江蘇南京

資料：(社)「日本タンナーズ協会報」第332号

(大手靴メーカーの住所録：2000年)

- 1 Jinhou Group Co., Ltd. of Weihai
  - ・ ブランド名；Jinhou
  - ・ 主力商品群：革靴
  - ・ 住所：No 106 Heping Road, Weihai, Shangdong province, 264200
  - ・ Tel：+086-631 5815827 +086-631 5805949
  - ・ FAX：+086-631 5815827
- 2 Wenzhou Great Wall Shoes Industry Corporation
  - ・ ブランド名；kangnai
  - ・ 主力商品群：革靴
  - ・ 住所：High-New Tech Lucheng Area Wenzhou(putaopen) Zhejiang China, 325028
  - ・ Tel:+86- 0577-8629191
  - ・ Fax:+86- 0577-8629991 8629090
- 3 Shenzhen Harson leather shoes Co., Ltd
  - ・ ブランド名；Harson
  - ・ 主力商品群：革靴
  - ・ 住所：Yantian industry zone, Shenzhen, Guangdong
  - ・ Tel:+86-0755 -5202136/5200667
  - ・ Fax:+86-0755-5200469/8863506
- 4 Jiangshu Senda Group Co., Ltd

- ・ ブランド名 ; Senda
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : No 888, Jianbao road, Jianhu county, Jiangshu province, 224700
  - ・ Tel:+86-0515-6290077 Fax:+86-0515-6290088
- 5 Hennan Saichao Footwear Co., Ltd
- ・ ブランド名 ; SaiChao
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : Xianwu Economic Development district, Luyi County, Henan Province, 477293
  - ・ Tel:+86-0394-7585197 7585168 Fax:+86-0394-7585226
- 6 Qingdao Hengda Footwear Co., Ltd
- ・ ブランド名 ; Hengda
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : No 256, Qingyan road, Jimo city, Qingdao, Shangdong province, 266221
  - ・ Tel:+86-0532-7501126 7503888 7505886
  - ・ Fax:+86-0532-7505998
- 7 Aokang group Co., Ltd
- ・ ブランド名 : Aokang
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : Aokang industrial park yongjiang zhejiang province
  - ・ Tel: +86-0577-67285555 Fax: +86-0577-67282222
- 8 Fujiang Fuling Footwear Co., Ltd
- ・ ブランド名 : Fuguiniao
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : Chuangfu industrial zone, Shishi, Fujian province, 362700
  - ・ Tel:+86-(0595)-8708888 8709999 8708889 8708999
  - ・ Fax:+86-(0595)-8708559 8709438
- 9 Wenzhou Jierda Shoes Industry Co., Ltd
- ・ ブランド名 : JIERDA
  - ・ 主力商品群 : 革靴
  - ・ 住所 : District 35, Wenzhou Economic and Technological Development Zone, Wenzhou, Zhejiang, P. R. China 325011
  - ・ Tel : 0086-577-6531028 6554065
  - ・ Fax:0086-577-6554063
- 10 Nanjing Wanli Footwear Co., Ltd
- ・ ブランド名 : Wanli
  - ・ 主力商品群 : 革靴

- ・ 住所 : No 94, Andengming, Nanjing, Jiangshu province, 210012
- ・ Tel: +86-025-2413364 2403021
- ・ Fax: +86-025-2402760

「資料 : 中国皮革工業協会 (CLIA) <http://www.china-leather.com/>」

表15 中国の大手革製衣服メーカー

企 業 名	商 標	主な製品	地 域
浙江猷王集团有限公司	SHOUWANG	革製衣服	浙江杭州
海寧蒙努集团有限公司	MENGNU	革製衣服	浙江海寧
天津應大皮革時裝有限公司	YINDA	革製衣服	天 津
凱撒(中国)有限公司	KAISA	革製衣服	広 東
河北辛集東蘭(集团) 有限公司	SHWLAN	革製衣服	河北辛集
雪豹集团公司	XUEBAO	革製衣服	浙江海寧
北京西比利亞皮貨集團	AONI' ER	革製衣服	北 京
河北西曼實業集團 有限公司	XIMAN	革製衣服	河北辛集
北京庄子工貿有限公司	ZHUNAGZI	革製衣服	北 京
云南瑞彪集团有限公司	RUIBIAO	革製衣服	雲 南

資料 : (社)「日本タンナーズ協会報」第 332 号

(大手革製衣服メーカーの住所録 : 2000 年)

1 Xuebao Group Company
・ブランド名 : Xuebao
・主力製品群 : Leather garment
・住所 : Develop Area Changan Town Haining Zhejiang, 314408
・Tel 0573-7422426 Fax 0573-7406246
2 Kaiser (Shantou) Co., Ltd.
・ブランド名 : Kaisa
・主力製品群 : Leather garment
・住所 : Zhujing Develop Area, Taishan Road, Shantou, Guangdong, 515041
・Tel 0754-8826333*8882 Fax 0754-8823825
3 Zhejiang Shouwang Group Company
・ブランド名 : Shouwang
・主力製品群 : Leather garment
・住所 : No. 58 Chaohui Jiuqu Hangzhou, Zhejiang, 310014
・Tel 0571-8805678 Fax 0571-8055231
4 Zhenjiang Piludan Fashion Co., Ltd.

- ・ブランド名 : Piludan
  - ・主力製品群 Leather garment
  - ・住所 : Zhenjiang Developing Area, Zhenjiang, Jiangsu, 212009
  - ・Tel 0511-8888989      Fax 0511-8888887
- 5 Yunnan Ruibiao Group Co., Ltd.
- ・ブランド名 : Ruibiao
  - ・住所 : Yujiang Dong Road, Yuxi City, Yunnan, 653100
  - ・Tel 0877-2056968      Fax 0877-2056659
- 6 Hebei Ximan Industry Group Co., Ltd.
- ・ブランド名 ; Ximan
  - ・住所 : Ximan Building Leather City, Xinjin, Hebei, 052360
  - ・Tel 0311-3219999      Fax 0311-3225788
- 7 Tianjin Yingda Leather Fashion Co., Ltd
- ・ブランド名 ; Yingda
  - ・住所 : Zhangguizhuang Dongli District, Tianjing, 300150
  - ・Tel 022-23363129      Fax 022-23363129-5
- 8 Haining Mengnu Leather Garments General Factory
- ・ブランド名 ; Mengnu
  - ・住所 : Nong feng bridge, Haining City, Zhejiang, 314400
  - ・Tel 0573-7070898      Fax 0573-7024898
- 9 Hebei Xinji Shulan Group Co., Ltd.
- ・ブランド名 ; Shulan
  - ・住所 : No. 1, Anding Street, Commercial City, Xinji, 052360
  - ・Tel 0311-3218888      Fax 0311-3221921
- 10 Beijing Xibiliya Leather Goods Group
- ・ブランド名 ; Aonier
  - ・住所 : No. 99 Qianmen Street, Beijing, 100051
  - ・Tel 010-63028688-516      Fax 010-63028858

「資料 : 中国皮革工業協会 (CLIA) <http://www.china-leather.com/>」

## 7 中国の皮革産業の発展方向

中国の皮革産業の「第 10 次 5 カ年計画」および「2015 年、長期発展戦略」は、中国皮革産業の発展第 2 段階の達成目標を提案し、皮革産業の「大国から偉大な国へ」変身するための青写真の概略を示している。その指導原理と主な目標は、以下の 3 点である。

①中国の皮革産業は量産主義から脱却し、品質、品揃え、輸出及び生産性重視型

に転換する

- ②今後 15 年間、中国を皮革生産の「大国から偉大な国に」変身させる
- ③目標達成のための具体的措置としては：
  - ・科学・技術を通じて皮革産業の体質を改善し、産業全体の質を高める
  - ・継続的な拡大を通じて、国内および国際市場を育成する
  - ・「天然皮革マーク」運動の持続的推進とブランド戦略の採用によって、国際市場で通用する著名ブランドを確立する
  - ・環境保護意識をさらに高める

## 8 中国のWTO加盟の影響

中国のWTO加盟は内外の皮革企業にも大きな影響を与える。

まず、海外皮革企業への影響としては、①中国の政策、法律、サービスなどが国際基準に合致するように調整され、その結果、外国企業の中国への投資・市場進出を促進する健全な環境が整備される、②皮革製品の輸入関税が引下げられるなど、中国製品と海外製品との間の公正な競争環境が整えることが予想される。

一方で、国内企業への影響としては、①輸入関税の削減によって、安価原料の厳選調達が可能となる、②その結果、生産コストの削減、製品の品質向上が期待できる、③革素材、付属品および金属・プラスチック部品の輸入が増加する、④原皮と製品革など中国製品の輸出機会が拡大され、国際市場が拡大する、④外国企業・製品の中国進出に伴い、中国市場における競争が激化する、⑤先進技術や近代的な経営ノウハウの導入によって、中国企業の競争力が向上する、などが考えられる。

さらに、①今後、環境に優しい化学技術と薬品が歓迎される、②革靴の国内需要は徐々に中級品から高級品に移行していく、③皮革産業の拡大は中国における畜産開発・拡大をもたらす、④国内市場向け製造工場建設のため、外資投資の必要性がさらに高まる、⑤国際的経営経験のある人材や熟練の製品デザイナー、皮革加工専門家・技術者に対する需要が高まる、⑥皮革公害の制御に役立つ技術や装置が大いにもてはやされる、⑦「中国の西部地域開発」戦略に伴って、西部地域（国土の57%、中国畜産生産の40%の地域）への投資が増大する、なども予想される。

## 9 中国皮革工業協会（CLIA、China Leather Industry Association）

### （1）中国皮革工業協会の概要

1987年設立された中国皮革工業協会は中国政府から権限を委任された唯一の全国水準の皮革関連組織として、政府と企業間の橋渡し・リンク役を務めている。CLIAの主要任務は、皮革産業の調整と管理、産業計画の策定、皮革市場の育成、著名ブランド戦

略の実施、科学・技術の研究・開発、国際展示会の主催・後援、皮革関連情報提供サービスなどである。

CLIA は、靴、製革、皮革用化学薬品、革製衣類、革製付属品、毛皮、皮革ハードウェア、科学技術部会など 10 種の専門部門から構成されている。なお、中国皮革工業協会は開かれた組織であるため、中国・外国いずれの皮革関連企業、研究機関、個人でも会員になることができる。CLIA の会員数は現在約 1300 程度であり、会員社の従業員数は約 400,000 人にのぼる。

### 『CLIA の役員と問い合わせ先』

#### (役員名)

Mr. Xuyong, Chairman of China Leather Industry Association

Ms. Zhang Shuhua, Deputy Standing Chairman of CLIA

Mr. Su Chaoying, General Secretary General of CLIA

Mr. Li Yuzhong, Deputy Secretary General of CLIA

#### (問い合わせ先)

##### ① CLIA 本部

住所: No. 6 Dong Chang An Street Beijing, 100740, China

Tel: 86-10-65261935 Fax: 86-10-65231698

E-mail: [clia@china-leather.com](mailto:clia@china-leather.com)

##### ② 「天然皮革マーク」(GLM) 事務局

Tel: 0086 10 65140984

##### ③ 情報局: Tel: 0086 10 65267346

##### ④ 専門部会:

Science and Technology committee, Management Committee、

Fur Committee, Leather Shoes Traveling Shoes Committee、

Leather Goods Committee、Leather Garment Committee、

Leather Balls-making Committee、Leather Chemistry Committee、

Leather Chemistry Committee、Leather accessory Committee

Tel: 86-10-65261935 Fax: 86-10-65231698

#### (2) CLIA の主な活動

##### 1) 業界に対する意識強化活動

2002 年 9 月、CLIA は、中国皮革産業の意識強化活動の一環として、「中国皮革産業誠意規約」を制定しその実践に努めている。「誠意規約」は、皮革業界の自己規制・規律を強化するものとして、従来からの各種の規則・規制・規定を見直したものである。

##### 2) 天然皮革マーク運動の推進

CLIA は 1994 年から、革靴と革製品部門における「天然皮革マーク」(GLM) の商標認定サービスを実施している。天然皮革マークとは、①該当製品が天然皮革の第 1 番

目の層（表面層）から製造されたものであること、②該当製品が優れた品質を備えていること、③製品には、優れたアフタ・サービスが付いていること、の3つを保証するものである。現在、約 300 種類の製品に天然皮革マークの使用が認められており、世界 14 ヶ国において同マークが登録されている。

### 3) エコロジカル革の推進努力

CLIA は、2002 年から「エコロジカル革」の商標認定サービスを実施している。このサービスは、環境保護に努力する製革工場に対する援助や便宜提供を主な目的とする。即ち、環境を汚さないテクノロジーを利用し廃液・廃棄物の処理・回収・リサイクルを強化している企業の製品と国際基準に合わせるため 4 種類の残留化学物質を制御している企業の製品には、「エコロジカル革」の商標付着が認められる。また、これら企業には各種の援助や便宜が提供される。

### 4) 展示会の主催と後援

CLIA は国内および国際皮革市場の拡大を図るため、毎年 9 月に、20 年以上の歴史をもつ「中国国際皮革展示会:CILE」を開催するなど各種の展示会を主催または後援している。2003 年には、「中国国際皮革展示会」「中国国際靴展示会」などが計画されている。[表 16]には CLIA が 2001 年開催または後援した主なイベントが示されている。

表 1 6 CLIA が 2001 年開催した主なイベント

- 
1. China (Shiling) Leather Goods Exhibition (January, Guangzhou Shishi)
  2. The Competition of "Genuine Leather Mark Cup 2001 " for Designing of Leather Goods" (January, Guangzhou Shishi)
  3. Leather Goods Commission Meeting (January, Guangzhou Shishi)
  4. Local Leather Industry Associations Meeting (January, Guangzhou Shishi)
  5. LasVegas Shoes Fair (Spring) February, Las Vegas
  6. Participating the XXVI IULTCS Congress (March, South Africa)
  7. Attending Asia Pacific Leather Fair (March-April, HongKong)
  8. Attending ITC Annual Meeting (March, HongKong)
  9. Attending ICHSLTA Annual Meeting (March, HongKong)
  10. LasVegas Shoes Fair (Autumn) August, Las Vegas
  11. All China Leather Exhibition 2001 (27-29th, September, Shanghai Everbright Convention & Exhibition Centre)
  12. Annual Conference of China Leather Industry Association (September, Shanghai)
  13. '2001 "Genuine Leather Mark Cup" Leather Shoes Designing Competition (September, Beijing)
  14. '2001 "Genuine Leather Mark Cup" Leather Garments Designing Competition

(September, Zhejiang Haining City)

15. The Working Conference of Genuine Leather Mark in Haining
16. The Working Conference of Genuine Leather Mark in Wenzhou
17. The Working Conference of Genuine Leather Mark in Xinji
18. The Working Conference of Genuine Leather Mark in Other Provinces
19. Leather Chemistry Commission Annual Conference
20. Leather Shoes & Traveling Shoes Commission Annual Conference
21. Leather Garment Commission Annual Conference
22. Fur Commission Annual Conference
23. Science and Technology Commission Annual Conference
24. Management Commission Annual Conference
25. Seminar of Carry out 《Product Quality Law》 and 《Standard Law》
26. Workshop on Environment Protection in Leather Industry

#### 5) 国際協力活動

CLIAは、ICT（国際製革協会：the International Council of Tanners）と IULTCS（国際皮革取引協会：the International Union of Leather Technologists and Chemists Societies）のメンバーとして様々な国際協力活動を推進している。中国の業界と外国皮革産業との架け橋として、CLIAが特に力を入れている事業は以下の通りである。

- ・国内外の皮革産業に関する市場調査
- ・諸外国からの新技術の導入
- ・経営・技術に関するコンサルティング業務
- ・外国企業の中国進出に関する諮問
- ・中国市場に関する情報提供業務

#### 6) 情報提供サービス業務

CLIAは中国皮革産業に関する一般情報、統計、経済分析、国際市場に関する情報、国内業者名簿など様々な内容の情報を提供する。さらに、円滑な情報提供・発信のため、①一般情報を提供する [www.china-leather.com](http://www.china-leather.com)、②技術、汚染防止に関する専門情報と政府基準などの情報を提供する [www.clia-lic.com](http://www.clia-lic.com) (Technology transfer center) という2つのウェブ・サイトを運営している。

**『各種情報に関する問い合わせ先』:** Contactor: Ye Xiangju,

Tel: 0086-010-65267346 86521407, Fax: 0086-010-65267346,

E-mail: [clia@china-leather.com](mailto:clia@china-leather.com)

表17 CLIAが発行した主な報告書

『一般情報』

1. New Millennium, New Challenge
2. Leather Industry Enters Golden Era
3. Influences of China's WTO entry on its leather industry
4. New opportunity to develop for China and foreign leather industry
5. Status and future in China leather industry
6. The review and current situation of China's leather industry

『皮革製品に関する輸出入情報』

1. I/E Report and Analysis of China's Main Leather Product (Aug, 2001)
2. I/E Report and Analysis of China's Main Leather Product (July, 2001)
3. I/E Report and Analysis of China's Main Leather Product (June, 2001)
4. I/E Report and Analysis of China's Main Leather Product (Dec, 2001)
5. I/E Report and Analysis of May, 2001
6. I/E Report and Analysis of March, 2001
7. I/E Report and Analysis of February, 2001
8. I/E Report and Analysis of January, 2001
9. I/E Report and Analysis of January, 2000
10. I/E Report and Analysis of February, 2000
11. I/E Report and Analysis of March, 2000
12. I/E Report and Analysis of April, 2000
13. I/E Report and Analysis of May, 2000
14. I/E Report and Analysis of June, 2000
15. I/E Report and Analysis of July, 2000
16. I/E Report and Analysis of August, 2000
17. I/E Report and Analysis of September, 2000
18. I/E Report and Analysis of December, 2000

## 10 個別事例

### (1) 浙江省温州 (Wenzhou: ウェンチョウ) の靴・革製造業

中国3大靴・革生産地域の1つである温州の靴・革製造の歴史は明朝まで遡る。しかし、温州の靴・革製造業が本格的な産業として発展し始めたのは1920年代頃からである。すでに、1930年代になると、温州の靴・革製造業は中国国内だけではなく、シンガポールやインドネシアなどの東南アジア周辺国との貿易も活発になる。中華人民共和

国の建国以降、温州はさらなる発展を遂げ、数多くの分野において、中国の靴・革産業をリードしてきた。改革開放経済体制が始まった1978年頃には、温州の革靴の年間生産量が約350万足に達することとなった。

現在、温州には約6,300の靴および革企業がある。その年間生産高は185億人民元(RMB)、輸出高は40億RMBであり、中国全体生産高の12.7%、全体輸出高の12.6%を占める。

なお、温州の3つの企業—康奈集团有限公司(KANGNAI)、奥康集团有限公司(AOKANG)、温州吉爾達鞋業有限公司(JI'ERDA)—は中国政府とCLIAによって「中国10大天然皮靴メーカー」に選定されており、また34の企業が「天然皮革マーク」(GLM)を獲得(中国全体天然皮革マークの38%)している。

温州は都市自体が化学・革関連機械、革ハード・ウェア、靴素材という3つの部門から構成されている靴・革産業都市といえる。20以上の靴・革製造団地があり、そこには40万人以上の従業員が働いている。また、中国最大の靴素材市場、牛革市場、豚革市場、機械市場をも抱えているだけに、中国のWTO加盟と相まって、今後、国際的市場として成長する可能性も非常に高い。

靴・革産業は特に労働集約的産業である。そのため、温州市政府は、以前から、温州地域の豊富な労働力を生かし、温州を中国一の靴・革の産地として育成する計画を立案・実行してきた。特に、1990年代以来、靴・革産業の振興に焦点をおく「革製品ブランド確立政策」を推進するなど地道な努力を続けてきた。そのような温州の努力が靴・革産業の生産規模や製品開発・企画力、市場ネットワークの面における大きな発展につながっている。

## (2) 浙江省海寧市(Haining)の革製衣料

海寧は中国有数の革製衣料センターとして知られており、70年以上の歴史をもつ。とりわけ、海寧の革製衣料産業は改革開放政策が始まった1980年代以来、急成長を遂げた。海寧市には、現在約3,000社の革製衣料製造メーカーがあり、そのうち、31の企業が「天然皮革マーク」(GLM)を獲得している。その総生産高は70億元(Yuan)であり、そのうち13億元の製品が40ヵ国以上に輸出されている。

なお、有名な卸販売市場である「浙江革製衣料シティー」も海寧に位置している。主に、中・高級品の革製衣料、革製品などが取引されている「浙江革製衣料シティー」は、先進的な設備と機能、サービスを備えていることから、革製衣料に関する販売・貿易、加工、科学技術、金融、情報の中心地としての役割を果たしている。

## (3) 香港の皮革産業

香港の皮革産業は革靴、旅行鞆、ハンドバッグ、革衣類、アクセサリなど幅広い製品を生産している。香港の皮革産業は2000年初期の4ヶ月間だけでも、主な輸出先であるアメリカ、EU、日本からの需要増加のお陰で、前年比で約12%の輸出増を記録した。特に革衣類の輸出は前年比で103%という大幅な増加を記録した。

香港皮革産業の近年の動向としては、製品に対する需要増加とともに、少量・多頻度・納入期間の短縮などがあげられる。また、香港はその原材料の大半を輸入に依存しているため、製品価格の激しい乱高下が問題となっている。また、香港の革製品は大半の輸出先において高い関税の対象となっており、特に、革靴の場合は、Q Tシステムと反ダンピング規制をうけている。

#### (4) 中国皮革産業の生産・情報センターとしての深圳 (Shenzhen)

深圳は中国一の皮革製品の輸出都市である。2000年度の皮革製品輸出高は中国の全輸出額の14%にあたる約14億USドルであった。また、外部世界への関門という立地条件を活用し、皮革製品の生産・輸出のみならず、国際マーケット情報センターとしても大きな役割を果たしている。

深圳は特別経済地区であるだけに、皮革産業の約65%を外国資本またはジョイント・ベンチャー企業が占めている。また、年中、内外から数多くの商人が集まっている。中国本土や海外から多くの資本投資が行われており、国際的に有名な皮革企業が相次いで深圳に製造工場を建設している。

なお、深圳のHarsonブランド靴 (Shenzhen Harson leather shoes Co., Ltd) が1999年、「最高の靴」として選ばれるなど、深圳の一部ブランドは、すでに著名ブランドとして成長している。

#### (5) 成都 (Chendu) の製靴産業

中国の5大製靴生産地の1つである成都是四川省 (Sinchuan) の省都で、中国西南地域の経済、文化、交通の中心地である。また、長い歴史と独特の風景をもつ観光地としても知られている。中華人民共和国の建国以前まで (1930~40年代) は、主に軍用の靴を生産していた成都の製靴企業は、1960年代以降、主に安全靴やブーツ、産業用靴を生産するようになった。とりわけ、Crocodile, Jinjun, Dongfeng, Hausheng は全国的にも有名なブランドといえる。

成都の製靴産業において初めて民間企業が登場したのは、改革・開放政策が始まった1980年代以降のことである。特に80年代末から90年代初頭にかけて、製靴市場の成長に刺激され、多くの幹部や従業員らが国有企業から逃げ出し、自分の事業を起こすようになった。成都の民間製靴企業数は1995年~96年にピークに達した。

1997~1998年のアジアの通貨危機は成都の製靴産業にとって1つの転換点となった。1998年以来、成都の製靴企業は資本蓄積と規模拡大の時代に突入する。しかし、現在でも、約3,000ある工場の大半は零細規模であり、中間及び大規模の比率は10%台に留まっている。そのため、製靴企業の大半は、自分の販売店をもっておらず、注文による生産だけを行っている。この点では、大規模工場地帯である広州 (guangzhou) とは大きく異なる。しかし、現在の成都の製靴業は、規模や経営状況において2~3年前の温州によく似ているとされている。そのため、ファッション・トレンドさえよくフォローできれば、近い将来に温州に追いつくことも可能であると予想されている。

一方で、成都の製靴企業は、零細規模であるだけに、柔軟性をもっている。例えば、新商品の開発から宣伝・広告までの期間が僅か1週間しかかからないので、急速なファッション・トレンドの変化にも迅速に対応できる。

製品は中・低等級の婦人・子供用靴が中心であり、男性用革靴の生産工場および生産量は非常に少ない。製品は主に西部地域で販売されるが、上海などの東地域や北部・中部でも強い人気がある。なお、近年、成都産靴の輸出も年々増えており、主な輸出市場はロシア、東南アジア、EUである。

中国西南の最大の交通拠点である成都は、靴の卸および小売の面でも大きな拠点である。1,000万の人口と、この地を訪れる年間1,000万以上の観光客が大きな消費者グループを形成している。靴の卸市場としては、成都大学近くにあるHehuachi靴産業卸市場が特に有名である。1980年代設立されたこの市場は、5つのブロックに区分されており、1000以上の店舗がある。ここでは、中・低等級の婦人・子供用及び男性用の靴が卸または小売販売される。非常に豊富な品揃えで西南地域においてもっとも有名な市場である。

その他に、周辺には「Jiaotonglu 製靴街」「Xinxing Pingze Shoes city」[Jiulong Plaza]など大規模卸市場もある。なお、もっとも大規模で賑やかな商店街は成都市中心にある官庁街に集まっているが、その一角に立地している「成都百貨店」と「人民市場」には、靴や帽子の専門販売コーナーが設けられており、国内外の多様なグレードの製品が販売される。そのため、多くの製造業者がここを卸・小売の販売拠点としている。

また、中国有数の畜産地帯でもある成都は、革市場も発達しており、Shuangnan, Sansheng, Hongshun, Wuxing 地域には大規模の革市場が形成されている。ここには、革、靴の素材、機械、アクセサリを取扱う多くの店舗・商人が集中しているため、広東省、温州、福建省、河北省、台湾からも多くのビジネスマンが出入りする。さらに、「Wuhou 製靴産業ゾーン」にも隣接していて、製造業者やトレーダが店を構える格好の場所となっている。

今、成都の製靴産業は比較的に安定的な成長を続けている。しかし、広州(Guangzhou)、温州など、他の沿岸地域に比べ、その発展の速度は確かに遅い。宣伝・広告などによるイメージアップと情報収集、水平・垂直的統合などを通じる大規模化、著名ブランド確立などが今後の課題といえる。

#### (6) 泉州市(Quanzhou)の製靴企業

改革・開放政策以来20年間、泉州市の製靴産業は零細産業から超大産業に成長した。技術投資の拡大、製品の科学的・技術的内容の改善がその原動力となった。現在、泉州市には、約4,000社以上の靴製造企業があり、イタリア、日本、台湾などから数多くの生産ライン・装置が導入されている。製品の品質もよく種類も非常に豊富で、一部企業は、TRP, PU, PVC, MOTO, ゴムなど靴製造に必要な原材料までを生産する。

中国の東南沿岸部に位置する泉州市は、歴史的にシルクロードの始発点として盛んな

町であった。そのため、泉州は長い歴史をもつ文化都市として、また海外に住む多くの華僑の故郷としても知られている。

その地理的利点を生かし、早くからジョイント・ベンチャーなどの輸出によって成長を遂げてきた泉州は、福建省のなかで、もっとも成長のスピードも早く経済規模も大きい都市である。

とりわけ、靴産業の成長は注目に値する。泉州の製靴産業はその成長過程において Fuguiniao, Pike, Anta, Aile, Denglilu, Wanshida, Zhuwei, Kanghui など数多くの著名ブランドを生み出した。これら著名ブランドは泉州の製靴業の技術レベルを表わすものとして、泉州の名を国内外に知らせている。例えば、Huayi 社の NYMIS はアフリカで高く評価をされており、Anta 社の ANTA 運動靴はロシアで、また、Huanqui 社の YALIDE、Sanxing 社の SANXING は EU で歓迎されている。

なお、泉州の製靴業は地元のみならず、内陸地域から多くの労働力を誘引しているため、雇用問題の解決にも貢献している。統計によれば、泉州市の製靴関連産業には約 30 万人が働いている。例えば、かつて小さな農村の村に過ぎなかった泉州市 CHENDAI 地域は、今は 1,000 社以上の製靴企業が立地している中国を代表する巨大製靴地帯に変身している。

1999 年 3 月、晋江市 SM スケアーでは、泉州における製靴産業のさらなる発展をテーマに、第 1 回晋江 (Jinjiang) 国際靴展示会が開かれた。四日間続けられたこの展示会には内外から数千の企業が参加した。訪れた人の数は 10 万を超えており、香港から招かれた専門家による 2 回の公演が開かれた。期間中の販売高は 13 億元にのぼった。

現在、泉州の製靴企業は多様な消費者ニーズに答えるため、技術・科学化に多くの投資を行っている。ISO9200 品質システムが構築されており、コンピューターによる製品デザイン、原料の受発注が行われている。また、Quanzhou Huanqui Shoes & Garment 社は NIKE 社からエアークッション技術までを導入している。

泉州の製靴産業は既存市場の維持だけでなく、新しい市場の開拓にも力を入れており、世界各国に 30 以上の支社・エージェンシをもっている。現在、泉州の製靴産業の主な輸出先は東ヨーロッパ、中東、南米、北米であるが、一部の高級品は西ヨーロッパにも輸出されている。1988 年の総輸出額は 2 億ドルであったが、これは泉州市全体の輸出額の約 40% に当る金額である。これからも更なる発展が見込まれている。

#### (7) 主な皮革製品卸売市場

##### 1) 「Liushi Leather And Fur Trade Fair Market」

1982 年、河北省 Liushi に開設された市場として 42 企業 (従業員 1,000 人以上) と 2,000 以上の店舗がある。取扱い製品は衣服用の羊皮、毛皮関連製品、皮革など。1997 年の羊皮取引量は約 650 万枚で、羊皮市場としては中国でもっとも重要な地位を占めている。

**[問い合わせ先] 担当者 Liu Zhenning**

住所: Jianshe West Road, Liushi Town, Hebei Tel: 0086 312-6335110

2) 「Lanzhou Leather and Shoe Materials Market」

1997年 Nanjing に開設された市場として90企業(従業員1,000人以上)と156以上の店舗がある。取扱い製品は皮革、靴の素材、皮革関連化学製品など。優れた立地条件と交通の便利さで、今後も成長可能性が高い市場である。

[問い合わせ先] 担当者: Wang Xi

住所: No. 272, Esat Donggang Road, Lanzhou City, China

Tel: 0086 931-8691439 Fax: 0086 931-8690555

3) 「Nanjing Huadong Footwear Market」

1997年、Nanjing に開設された市場として1200の企業と300以上の店舗がある。主な取扱い製品は革靴、子供用の靴、運動靴など。

[問い合わせ先] 担当者: Zhang Qinghong

住所: No. 283, Jianning Road, Nanjing City, China

Tel: 0086 25-8817198 Fax: 0086 25-8817198

4) 「Kaifeng Leather Products World」

1997年、河南省 Kaifeng 市に開設された市場として1,000以上の店舗がある。取扱い製品は革靴、靴・ハンドバック、革製品、皮革関連化学製品、アクセサリなど。1998年の革靴の売上高は760万RMB。

[問い合わせ先] 担当者: Zhou Aru

住所: 66, Zhongshan Middle Section, Zhongshan Road, Kaifeng City, Henan.

Tel: 3937194 Fax: 3968212

5) 「Wuhan Yinhe Leather Shoe Market」

Wuhan 市 Hankou にある市場として1996年開設。面積は6,000平方メートル、150の企業(3200人の従業員)と120の店舗がある。主に製靴が行われる。1998年の生産・販売高は1億2000万RMB。格好の立地条件から更なる発展が期待されている。

[問い合わせ先] 担当者: Ye Xingguo

住所: Daxing Road, Hankou, Wuhan City Fax: 0086 27-85655079

6) 「Shenyang Shoe City」

1989年開設された市場として深陽市(Shenyang)にある。面積は55平方キロ。3,082の店舗(400人の従業員)がある。

7) 「Shenyang Leather and Shoe Materials」

1994年開設された市場として深陽市(Shenyang)にある。20平方キロの面積に1,000の店舗(1,500人の従業員)がある。主な取扱い品は製品革。1998年の売上高は2億1000万RMBである。

[問い合わせ先] 担当者: Li Shengquan

住所: No. 1-2 Caoshi Lane, North Shunchang Cheng Raod, Shenhe District,

Shenyang City Fax: 0086 24-88500082

8) **「Zhejiang Leather Clothing City」**

1994年開設された市場として海寧駅(浙江省)の向こうに位置している。1平方キロの面積で4,200の店舗、2,000の企業(15,000の従業員)がある。主な取扱い製品は革製衣服、毛皮衣類、革製品、アクセサリなど。1998年の売上高は32億RMB、取引された革製衣服は610万枚であり、一部は輸出される。

[問い合わせ先]担当者: Zhang Jingqian

住所: No. 1, Haichang Road, Haining City, Zhejiang 314400

Tel: 0086 573 7030508 Fax: 0573-7020249

http://www.asia-leather.com E-mail: zjpg@zgb.com.cn

9) **「Xinji Leather City」**

1994年開設された市場として、1000の企業(15000人の従業員)と5,000の店舗がある。主な取扱い製品は革製衣服、羊や山羊の革であり、製品は主にロシアや東ヨーロッパに輸出される。革製衣服の生産高は約200万枚、そのうち約35万枚は輸出される。

[問い合わせ先]担当者: Liu Yunze

住所: Xinji City, Hebei

Tel: 0086 311-3223371 Fax: 0086 311-3223371

http://www.pgc.com.cn E-mail: xjpgc@263.net

10) **「Jining Leather and Leather Products Market」**

内モンゴルのJining市にある市場として1996年開設。3平方キロの面積、主な取扱い製品は革製衣服、手袋、鞆・ハンドバック。1998年の売上高は3億8,000万RMB、そのうち、120万RMBが輸出された。主な輸出先はロシア、韓国、モンゴルなど。

[問い合わせ先]担当: Liu Quanyu

住所: No. 35, Gongyuan Street, Jining City, Inner Mongolia

Fax: 0086 474-8286920

11) **「Dong Xing Leather Clothing Market in Liaoning」**

1988年設立された市場としてLiao Yang市にある。9,000の企業(18,000人の従業員)と6,000の店舗がある。主な取扱い製品は革製衣服であり、製品は主にロシアと中央アジア5ヶ国に輸出される。1988年の売上高は26億RMB。同市場は国内外からの投資を歓迎するという。

[問い合わせ先]担当者: Gao Xianli

住所: Tong Er Pu Town, Dengta County, Liaoning (Economic Special Region)

Tel: 0086 419-8166125

12) **「Xinjiang Leather City」**

1993年開設された中国北西部の最大の革市場としてWulumuqiにある。9平方キロの面積、250の店舗、30企業(6,000の従業員)がある。豊富な原材料を背景に、革は昔

からこの地域の伝統的な産物である。年間約 50,000 枚の衣類が生産・販売される市場として、特に、中国とロシアに影響力をもつ。

### 1 3) 「Dongguan Footwear Market」

1995 年設立された市場として広東省にある。30 平方キロの面積、100 の企業（1000 の従業員）がある。主な取扱い製品は靴、製靴素材、製靴機材であり、1998 年の販売高は 1 億 RMB。毎年、中国や香港の企業とともに博覧会を開催している。

[問い合わせ先] 担当者 Li Zhiming

住所: Guanlong Road, Dongguan, Guangdong, China

Fax: 0086 769-2250136 Fax: 0086 769-2255146

<http://www.dongguan.gd.cn/shoesfair>

e-mail: [shoefair@dongguan.gd.cn](mailto:shoefair@dongguan.gd.cn)

### Ⅲ 皮革関連国際機構

#### 1 国際製革協会（ICT）

##### （1）ICT の概要

ICT 設立の基本目的は国際皮革産業の利益保護にある。そのため、ICT は皮革産業に影響を与える重要事項に対する会員同士の意見交換、利害調整による問題解決、他の皮革関連組織との協調、統計・情報の交換、皮革産業に対する調査・研究の実施、世界各地の皮革産業と当該国政府との交渉支援、その他の会員の利益保護に関する活動を行う。

##### （2）会員国（25ヶ国）（2002年現在）

- ・ Argentina (CICA)
- ・ Austria
- ・ Brazil (CICB)
- ・ Canada
- ・ China (CLIA)
- ・ Finland (FSLIA)
- ・ France (FFTM)
- ・ Germany (VDL)
- ・ Hungary
- ・ Iceland
- ・ India
- ・ Ireland
- ・ Italy (UNIC)
- ・ Japan
- ・ Netherlands (FNL)
- ・ Norway
- ・ Portugal (APIC)
- ・ Egypt
- ・ South Africa
- ・ Spain
- ・ Sweden
- ・ Switzerland
- ・ Turkey
- ・ United States of America (LIA)
- ・ United Kingdom (BLC)

##### （3）ICT の自由貿易宣言（1981年6月）

###### （基本原則）

- ① ICT は、公正競争と自由貿易に基づく皮革産業の健全な発展と付加価値の極大化を目指す
- ② ICT は、原則的に保護主義に反対するが、開発途上段階にある国に対する特別な保護やインセンティブを認める。但し、保護やインセンティブは正常な競争を歪めるものであるので、明確な期限を設けるべきである
- ③ ICT は、いかなる保護主義の強化に反対する。また、会員に対しても、保護主義への抵抗を促す
- ④ 全てのタンナーは、制限なしで原材料にアクセスする権利をもつ。如何なる国も、原材料へのアクセスを制限することはできない
- ⑤ 全てのタンナーは、制限なしで革市場にアクセスする権利をもつ。そのため、全ての国は、輸入革に対する非関税障壁を漸次削減し、将来的には完全撤廃するべ

きである

- ⑥ 皮革製品へのアクセスも最大限保証されるべきである。そのため、革製品に対する非関税障壁を漸次低減し、将来的には完全撤廃するべきである
- ⑦ ICTは、「原皮供給が食肉生産に大きく依存している。そのため、食肉生産・貿易拡大が原皮供給拡大にとって重要であること」と認識する

#### (実行のタイムテーブル)

\* ICTは、世界各国の保護政策がもたらす皮革製品の需給不均衡を回避し、公正かつ健全な国際貿易を促進するため、下記の実行タイムテーブルを設定する。

- ① 会員国は皮革製品に対する輸出入関税の漸次的な削減に努める
- ② 会員国は、1984年まで、自国市場シェアの15%へのアクセスを認める
- ③ 会員国は、1989年まで、自国市場シェアの25%へのアクセスを認める

#### (政府への通知)

\* ICTは会員国の政府に本宣言の内容を直接通知することにする

#### (4) 自由貿易に関する ICT・ICHSLTA の共同声明

1996年、ICTとICHSLTA(国際皮革取引協会)は皮革製品の自由貿易に関する共同声明を発表した。その主な内容は以下のとおりである。

- ① 1981年以来15年間、原皮の国際貿易量は18%以上、取引金額では60%以上成長し、現在年間43億ドルに達する。一方で、革の国際貿易も取引量で140%、取引金額で240%以上成長し、現在年間95億ドルに達するようになった。
- ② しかし、FAOの報告によれば、貿易障壁による皮革製品の国際取引の減少額は年間25億ドルを上回る。
- ③ そのため、ICTとICHSLTAは全ての国に対して、自由貿易原則に反する貿易障壁の撤廃を強く求める。

#### (5) 仲裁センター設置地域

皮革製品の国際取引と関連する紛争を解決するため、ICTとICHSLTAが共同で承認した仲裁センターが世界12ヶ国に設置されている(2001年12月現在)。その、設置地域は以下のとおりである。

Australia

Germany

Hong Kong

Netherlands

South Africa

Spain

France

Great Britain

Italy

New Zealand

Ireland

USA

#### (6) 「ECO·TOX ラベル革」事業の実施

ICTは環境保護活動の一環として1996年1月から「ECO·TOX ラベル革」事業を実施している。「ECO·TOX ラベル革」の要件は、①廃棄物の処理・処分に関する生産国の法律

遵守、②処理工程において CITES 由来の物質を使用していないこと、③特定国家において環境・安全面での危害要素とみなされている特定化学物質の使用を避けていること、などである。

[ICT ECO-TOX ラベルの入手・問い合わせ先]

ICT 事務所 Email: [sec@lannerscouncilict.org](mailto:sec@lannerscouncilict.org)

\*ラベルの価格：Swiss Francs CHF 50.00 /1,000 枚（送料別）

## 2 国際皮革取引協会 (ICHSLTA)

### (1) ICHSLTA の概要

1929年設立された ICHSLTA (The International Council of Hides, Skins and Leather Traders Associations) は、皮革関連製品の公正な国際取引の保障と皮革産業の保護・振興を目的する非政治組織である。設立以来、会員国は年々増え続けて、現在は 30ヶ国以上にのぼる。

ICHSLTA のもっとも核心的な業務は、「国際標準契約書」の制定と改正であるといえる。国際標準契約書とは皮革製品の公正な国際取引を保証するために制定されたものとして、皮革製品の国際取引のみならず、国内取引においても適用される。標準契約書は環境変化に対応するため定期的に改正されることになっており、毎年 ICHSLTA と ICT が標準契約書の改正の方向などについて協議を行っている。

なお、標準契約書は制定初期から、国際裁判所 (International Courts of Law) や国際仲裁機構 (Chambers of Arbitration)、世界各国の法廷によって支持されている。

そのほか、ICHSLTA は皮革産業の生産、格付け、マーケティングに関するガイドラインを作成したり、仲裁事件や環境保護問題について会員に対する助言を行う。

[ICHSLTA に関する問い合わせ先]

\*The Director General of ICHSLTA (The International Council of Hides, Skins and Leather Traders Associations)

\*住所：Douglas House, Douglas Road Melrose, Roxburghshire TD6 9QT  
Scotland Tel: + 01896 82 22 33 Fax: + 01896 82 33 44

E-Mail: [offices@andaco.com](mailto:offices@andaco.com)

### (2) 皮革取引に関する国際標準契約書

国際標準契約書には、原皮取引契約書である「契約書 No 6」と製品革取引契約書である「契約書 No 7」という 2種類がある。契約書 No 6 と契約書 No 7 はともに最新の専門技術用語を反映しており、また国際貿易用語解釈に関する国際統一規則である「INCOTERMS」を採択している。なお、ICHSLTA・ICT の共同標準契約書委員会は毎年、契約書の内容を検討し、標準契約書が買手と売り手の両方にとって公正・公平であることを確認する。

しかし、実際取引においては、「標準契約書」よりも「任意契約書：House Contracts」を利用している企業や団体が多い。これら「任意契約書」には、だいたい「用語と条件は標準契約書 No 6 と標準契約書 No 7 に依拠する」という条項が含まれているが、紛争発生の際の仲裁場所や仲裁機関に対する明確な言及はない。

そのため、ICHSLTA は、標準契約書を利用せずに、「標準契約書 No 6 と標準契約書 No 7」だけを言及するのは、著作件の違反になることを指摘している。さらに、標準契約書を使用しない場合、大半のケースにおいて仲裁手続きは不可能になると主張し、「任意契約書」の有効性に対して、強い疑問を投げかけている。

## Ⅳ 日本のタンナー業界と原皮業界の今後の課題

### 1 製革業界の状況と課題

#### (1) 製革業界の一般状況

現在、日本では、特惠受益国からの皮革製品の輸入増の影響で、倒産や休廃に追い込まれるタンナーが続出しており、過去に比べてその生産量も大きく減少している。さらに、環境問題への対応とそれに伴う生産コスト増への懸念も高まる。

そもそも、日本のタンナーは家内工業的中小規模（従業員 10 人以下）が中心であるが、近年、規模の零細化はさらに進む傾向にあり、輸入の急増などで、タンナーの操業率も低い水準で推移している。ちなみに、成牛革生産企業の年間生産能力は 672,700 枚（クロムなめし 629 千、タンニン 26 千、その他 17 千）であるが、現在の生産実績は 337,234 枚（操業率、クロム 50%、タンニン 60%、その他 22%）に過ぎないため、全体操業率は 50%に留まっている。また、豚革の場合、生産能力 490,400 枚に対し生産実績は 272,057 枚であるため、全体操業率は 55%となっている。一方で、牛床革の操業率はわずか 37.5%（生産能力 281,510 枚：実績 105,444 枚）に留まっている（平成 13 年度、製革業実態調査報告書、（社）日本タンナーズ協会）

#### (2) 製革業界の課題

皮革製品の輸入増と国内生産量の減少を考えると、製革企業の規模適正化が最大の課題となる。統合やグループ化などを通じて、製革企業の数に現在より 1/2～1/3 まで減らすことが求められている。

また、製革企業の製品別・畜種別の専門化が重要である。革の品質は基本的にタンナーの技術力に大きく依存する。そのため、価格競争ではなく製品の企画力・開発力で勝負する差別化戦略が必要となる。産業構造が日本と似ているイタリアの場合は、最終製品における確固たるブランドが確立されている。しかし、日本の場合はブランド確立という点で非常に遅れているといえる。業界の販売促進活動や国際博覧会出品などとともに製革企業の専門化と製品差別化が今後の課題となる。

### 2 原皮革業界の今後の課題

日本の豚原皮は、台湾への輸出が中心となっていたが 1999 年以降、台湾への輸出が急減する一方、香港と中国へとシフトし全体の 60%程度を占めている。特に、欧州のタンナーが中国との合弁会社を設立し、中国でなめしを行う傾向が強まっていることが背景の 1 つにある。

我が国の豚原皮が、中国への輸出が今後も中心となるという見方が定着しつつあるのは、上述してきたように中国の製革産業は、①製革企業が相当規模のものでも 2,300 社

程度あり、従業員数が8万人という大きな産業を形成していること、②製革技術も改善され台湾並みの品質・価格を実現していること、このため③豚皮および羊皮の薄物革生産量はともに世界1であること、製革のみではなく川下の皮革産業である④靴、鞆、衣料等の最終製品のそれぞれの産業の企業数が製革企業数を上回る規模で存在していること、今後の展開についても⑤皮革産業の「第10次5カ年計画」および「2015年長期発展戦略」によりビジョンが明確に示されていることなどがある。いわば、世界の皮革産業の巨頭となりつつある。

こうした背景からすると、我が国の皮革産業の巨頭に対する戦略を構築することが必要となってきた。それは中国への原皮輸出が、①国内企業1社で対応できる原皮企業が限られていること、②他の原皮業者は中小商社に依存しているという2重構造を形成していることにある。このため中小原皮業者は価格形成力を持たないことから、組織化を図り集荷能力を向上させることが必要である。また、中国の皮革産業は日進月歩であることから常時、中国の製革産業を中心として情報収集を行うとともにその分析による販売方法等の改善を図りつつ戦略構築を進めていくことが重要である。

表18 中国における皮革製品に関する輸入関税率 (2001年1月現在)

Import Customs of leather goods of P. R. C. (2001)			
No.	Tax No.	Description of Goods	rate (%)
			Preferential duty rates
1	28413000	Sodium dichromate	7
2	28414000	Potassium dichromate	7
3	32011000	Quebracho extract	7
4	32012000	Wattle extract	7
5	32019010	Other	7
6	32019090	Other tanning extracts	7
7	32021000	Synthetic organic tanning substances	10
8	32041100	Disperse dyes and preparations based thereon	11
9	32041300	Basic dyes and preparations based thereon	9
10	32041400	Direct dyes and preparations based thereon	10
11	41011000	Whole hides and skins of bovine animals	5
12	41012100	Whole	5
13	41012200	Butts and bends	5
14	41012900	Other	5

15	41013000	Other hides and skins of bovine animal, otherwis	5
16	41014000	Hides and skins of equine animals	5
17	41021000	Raw skins of sheep or lambs with wool on	9
18	41022100	Pickled raw skins of sheep or lambs without wo	9
19	41022900	Raw skins of sheep or lambs without wool on	9
20	41031010	Raw hides and skins of goats	9
21	41031090	Other	9
22	41032000	Raw hides and skins of reptiles	9
23	41039010	Raw hides and skins of swine	9
24	41039090	Other	9
25	41041000	Whole bovine skin leather, of a unit surface area	8
26	41042100	Bovine leather, vegetable pre-tanned	9
27	41042210	Chrome-tanned bovine leather(wet bule skin lea	7
28	41042290	Other	9
29	41042900	Other bovine leather and equine leather, parchm	9
30	41043100	Full grain and full grain splits	9
31	41043910	Other bovine leather and equine leather for mac	7
32	41043990	Other bovine leather and equine leather	9
33	41051100	Sheep or lamb skin leather, vegetable pre-tanne	14
34	41051210	Sheep or lamb skin leather, wet-blue	14
35	41051900	Other sheep or lamb skin leather,	14
36	41052000	Sheep or lamb skin leather, parchment-dressed	14
37	41061100	Goat or kid skin leather, vegetable pre-tanned	14
38	41061200	Goat or kid skin leather, otherwise pre-tanned	14
39	41061900	Other	14
40	41062000	Goat or kid skin leather, parchment-dressed or	14
41	41071010	Chrome-tanned swine leather(wet blue skin leat	14
42	41071090	Other swine	14
43	41072100	Vegetable pre-tanned reptiles	14
44	41072900	Of reptiles, therwise pre-tanned	14
45	41079000	Of other animals	14
46	41080000	Chamois(including combination chamois) leather	14
47	41090000	Patent leather and patent laminated leather;meta	12
48	41100000	Parings and other waste of leather or of compo	14
49	41110000	Composition leather	14

50	42010000	Saddlery and harness for any animal	24
51	42021110	Trunks and suit-case with outer surface of leath	22
52	42021190	Other	22
53	42021210	Trunks and suit-case with outer surf	20
54	42021290	Other	20
55	42021900	Handbags, weather or not with shoulder strap, in	24
56	42022100	Handbags with outer surface of leather, of com	22
57	42022200	Handbags with outer surface of plastics sheeting	20
58	42022900	Other handbags	24
59	42023100	Purses and wallets with outer surface of leather,	22
60	42023200	Purses and wallets with outer surface of plastics	20
61	42023900	Purses and wallets made of otherwise material	24
62	42029100	Container with outer surface of leather, of comp	22
63	42029200	Container with outer surface of plastic or textile	20
64	42029900	Container with outer surface of other material	24
65	42031000	Articles of apparel, of leather or of composition	22
66	42032100	Gloves specially designed for use in sports	24
67	42032910	Working gloves	24
68	42032990	Other gloves	24
69	42033000	Belts and bandoliers	22
70	42034000	Othr clothing accessories	24
71	42040000	Articles of leather or of composition leather for i	14
72	42050000	Other articles of leather or of composition leath	23
73	43011000	Raw furskins of mink, whole	27
74	43012000	Raw furskins of rabbit, whole	20
75	43013000	Raw furskins of lamb including Astrakhan, Broa	20
76	43014000	Raw furskins of beaver, whole	20
77	43015000	Raw furskins of musk-rat, whole	20
78	43016000	Raw furskins of fox, whole	20
79	43017000	Raw furskins of seal, whole	20
80	43018000	Other furskins, whole	20
81	43019010	Weasel tails	20
82	43019090	Other	20
83	43021100	Tanned furskins of mink, not assembled.	27
84	43021200	Tanned furskins of rabbit or hare, not assemble	20

85	43021300	Tanned furskins of lamb, not assembled.	20
86	43021910	Tanned furskins of grey squirrel, ermine, other m	20
87	43021990	Other	20
88	43022000	Heads, tails, paws and other pieces or cutting, no	20
89	43023010	Tanned furskins of grey squirrel, erm	20
90	43023090	Other	20
91	43031010	Articles of appare	23
92	43031020	Clothing accessories	18
93	43039000	Other	18
94	64031200	Ski-boots, cross-country ski footwear and snow	24
95	64031900	Other	24
96	64032000	Footwear with outer soles of leather, and upper	24
97	64033000	Footwear made on a base or platform of wood,	24
98	64034000	Other footwear, incorporating a protective metal	24
99	64035100	Other footwear with outer soles of leather, cove	24
100	64035900	Other footwear with outer soles of leather	24
101	64039100	Covering the ankle	24
102	64039900	Other	24
103	64041100	Sports footwear, tennis shoes, basketball shoes, g	24
104	64041900	Other	24
105	64042000	Footwear with outer soles of leather or compos	24
106	64051000	Other footwear with uppers of leather or comp	24
107	64052000	Other foowear with uppers of textile materials	24
108	64059000	Other	24
109	64061000	Uppers and parts thereof, other than stiffeners	24
110	64062000	Outer soles and heels, of rubber or plastics	24
111	64069100	Of wood	24
112	64069900	Of other materials	24
113	65069200	Hats of furskin	24
114	65069910	Hats of leather	24
115	65069990	Other	24
116	65070000	Head-bands, linings, covers, hat foundations, hat f	24
117	84531000	Machinery for preparing, tanning or working hid	12
118	84532000	Machinery for making or repairing footwear	12
119	84538000	Other	12

120	84539000	Parts for machinery	8
	Average rate		17.1

注1) 優遇関税 (The Preferential duty rates) は中国と交易協定を締結した国で生産・製造された製品のみ適用される。それ以外の製品には一般関税 (the general duty rates) が適用される。

資料) 中国皮革工業協会 (CLIA) <http://www.china-leather.com/>

## 『参考資料』

- 1 (社)「日本タンナーズ協会報」第 326 号、2002 年 7 月 2 日
- 2 (社)「日本タンナーズ協会報」第 332 号、2002 年 12 月 25 日
- 3 海外皮革情報第 509 号、日本タンナーズ協会、2003/01/24
- 4 中国広東省皮革産業調査団報告書、日本タンナーズ協会、2002 年 11 月
- 5 平成 13 年度製革業実態調査報告書、日本タンナーズ協会
- 6 日本タンナーズ協会のウェブ・サイト  
<http://www.tcj.jibasan.or.jp/>
- 7 中国皮革工業協会 (CLIA) のウェブ・サイト  
<http://www.china-leather.com/>
- 8 国際製革協会 (ICT) のウェブ・サイト  
<http://www.tannerscouncilict.org/>
- 9 国際皮革取引協会 (ICHSLTA) のウェブ・サイト  
<http://www.ichslta.org/>